

令和5年度 組織目標展開整理表 (部の組織目標)

作成日 令和5年4月1日

職名 福祉部長 氏名 玉井 理加

番号	実施項目 (業務目標又は事務の内容)	計画・方針 等の分類	どの水準まで (達成水準又は遂行後の状態等)	どのような方法で (目標等を達成するための取組の内容等)	いつまで (期限)	共通/課名	達成状況
1	市民の日常生活の回復に向けた支援	施政方針	コロナ禍からの影響、ウクライナ情勢を起因とした物価高騰などの影響を受ける市民生活を守るため、状況に応じた適切な対応が図られている。	・低所得世帯支援給付金の円滑な支給 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の活用	随時	共通	高度に達成した
2	重層的支援体制整備事業の推進	施政方針	複雑化・複合化した課題について各所管が連携し、ニーズに応じた個別支援の充実、すべての市民が活躍できる地域づくりに向けて取り組んでいる。	・相談支援総合調整会議等における庁内連携 ・1号相談機能(包括支援事業、障害者機関相談支援センター事業、生活困窮者自立相談支援事業)、3号地域づくりに向けた機能(地域介護予防活動支援事業・生活支援体制整備事業・地域活動支援センター事業)の各事業の推進と連携	年度末	共通	ほぼ達成した
3	生活困窮者への支援の促進	総合ビジョン	生活に困窮する方々が早期に把握され、自立に向けた支援が実施されるとともに、生活保護制度を必要とする方の保護が実施されている。	・各種支援事業の効果的な周知及び丁寧な相談対応 ・自立生活支援機関の効果的な周知 ・自立支援に向けた個別支援計画の作成	年度末	生活福祉	ほぼ達成した
4	ひとり親家庭の自立支援の促進	総合ビジョン	ひとり親家庭の自立支援策の周知が行われ、相談者に寄り添った相談及び支援が実施され、自立が図られている。	・各種支援事業の効果的な周知及び丁寧な相談対応 ・自立支援給付金等各種支援事業の実施 ・子ども家庭部等関係部署との連携	年度末	生活福祉	ほぼ達成した
5	法整備に伴う婦人相談所と自治体の機能、役割の整理	その他	対象となる市民が最適な支援を受けることができるよう婦人相談所、自治体機能の役割が整理されている。 (令和6年4月1日施行予定「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」)	・法律に位置付けられた機能、役割の整理 ・国、都の動向、近隣自治体の進捗等情報収集 ・第5次男女平等推進行動計画策定に向けた人権平和課との情報、課題共有	年度末	生活福祉	ほぼ達成した
6	「第4次国分寺市障害者計画実施計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画」の策定	施政方針	第4次国分寺市障害者計画・実施計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画に位置付けられている事業を着実に推進するとともに、次期計画が遅延なく策定されている。	・アンケート調査、関係団体懇談会の意見聴取、施策推進協議会の検討を踏まえ、ニーズの分析、地域の課題の把握と解決に向けた計画策定	年度末	障害福祉	高度に達成した
7	地域生活支援拠点等の機能の充実・強化	施政方針	市内1か所に新たな拠点が整備され、各拠点が利用者を支える地域資源として活用されている。	・新たな拠点の周知と活用の促進 ・各拠点が利用者の生活、自立を支える場となるよう運営状況、ニーズの把握を継続	年度末	障害福祉	ほぼ達成した
8	医療的ケア児コーディネーターの配置と支援体制整備	施政方針	ケアを担う家族の不安や孤立感に寄り添いながら、地域と繋がり地域で支える環境整備に向けて取り組まれている。	・医療的ケア児コーディネーターの役割、機能の明確化 ・支援から把握されたニーズ、地域課題の解決に向けた支援体制の整備 ・医療的ケア児等の在宅レスパイト事業の検討	年度末	障害福祉	高度に達成した
9	地域における障害への理解促進	総合ビジョン	障害についての正しい理解が促進され、共に支え合う地域づくりが進んでいる。	・様々な手法による障害理解促進の取組の実施 ・ヘルプマーク、ヘルプカード等の啓発グッズの活用 ・災害時等障害者支援バンダナを活用した啓発の実施	年度末	障害福祉	ほぼ達成した

番号	実施項目 (業務目標又は事務の内容)	計画・方針 等の分類	どの水準まで (達成水準又は遂行後の状態等)	どのような方法で (目標等を達成するための取組の内容等)	いつまで (期限)	共通/課名	達成状況
10	「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定	施政方針	第8期計画の各事業の着実な推進とともに、2040年を見据えた基盤整備を進めるための計画が策定されている。	・在宅医療・介護連携の推進 ・認知症施策の推進 ・保健事業と介護予防の一体的実施 ・生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進 ・市介護施設指定管理業務の適正な運営に向けた検討	年度末	高齢福祉	ほぼ達成した
11	デジタル機器を活用した高齢者のデジタルデバイス対策、フレイル予防等の促進	施政方針	デジタル機器等を活用する機会を設け、高齢者の社会参加の促進、介護予防の取組への意欲向上が図られている。	・スマートフォン等のデジタル機器の講習会の開催 ・体力測定会等での歩行姿勢測定システムの導入	年度末	高齢福祉	ほぼ達成した
12	高齢者見守り体制の充実	施政方針	単身世帯、高齢者のみ世帯の高齢者が、安全・安心に地域で生活できている。	・緊急通報システムの民間サービスの活用 ・地域、関係機関、企業等の協力、連携による取組の推進	年度末	高齢福祉	ほぼ達成した
13	地域包括ケアシステムの推進	総合ビジョン	高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続していくために必要となる生活支援・介護サービスの提供や見守り体制の構築が進んでいる。	・在宅医療・介護の連携の推進 ・保健事業と介護の一体的実施に向けた検討 ・生活支援コーディネーターによる地域課題の把握及び施策の推進	年度末	高齢福祉	ほとんど未達成だった(達成率80～50%)
14	認知症施策の推進	総合ビジョン	住み慣れた地域で本人、家族、地域が安心して生活できる環境が整っている。	・認知症サポーター養成講座の実施 ・チームオレンジによる講座と地域づくり ・多様な形態による認知症カフェの開催	年度末	高齢福祉	ほぼ達成した
15	正確で効果的・効率的な業務の推進	その他	漫然と前例踏襲で行うことなく、より効果的・効率的な業務のあり方を模索しながら、あらゆる業務が正確に処理されている。	・業務の目的・根拠の明確化と職員間での共有 ・デジタル技術の活用、導入検討 ・ミスの起きない事務処理手順の徹底	随時	共通	ほぼ達成した
16	適正な情報管理の徹底	その他	直営事業はもとより、委託事業、指定管理事業等も含め、個人情報を含む情報管理が徹底されている。	・情報システムの適切な管理運営 ・個人情報を含む情報管理の徹底 ・委託事業者、指定管理者等に対する情報管理の指導・確認	随時	共通	ほぼ達成した
17	適切な情報共有と連携による業務の推進	その他	部内の全職員が市や部の方針等について共有し、役割を分担しつつ連携して業務が推進されている。	・報告・連絡・相談の適宜の実施及び業務の進捗管理 ・国、都、地域、他自治体の動向等の情報収集と共有 ・役割分担の明確化及び課内、部内、庁内連携の推進	随時	共通	ほぼ達成した